

令和2年度第1回 国土交通省大阪航空局 入札監視委員会
審 議 概 要

開催日及び場所	令和2年6月22日(月) 大阪航空局第2・第3会議室	
委員	委員長 稲垣 喬 (弁護士) 委員 増田 達也 (大阪工業大学客員教授) 委員 竹林 幹雄 (神戸大学大学院教授)	
審議対象期間	令和元年10月1日～令和2年3月31日	
審議概要		
1. 報告	入札・契約手続きの運用状況について	
2. 抽出案件	総件数 3件	
	(1) 工事	随意契約(不落随契) 1件
	(2) 建設コンサルタント業務等	一般競争(総合評価落札方式) 1件
	(3) 役務の提供及び物品の製造等	一般競争 1件
	意見・質問	回 答
委員からの意見・質問、それに対する大阪航空局の回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特に問題は無い。ただ、各委員の意見にあったような懸念事項に留意されたい。	

審議概要（別紙）

1. 報告

入札・契約手続きの運用状況について

意見・質問（委員）	回答（大阪航空局）
<ul style="list-style-type: none">○ 一者応札及び随意契約の推移等において、上半期と下半期を比較したら下半期のほうが平成30年度も平成31年度も割合が増えているが、これは何か理由があるのか。○ 「不落随契」の見積徴取回数に制限はないのか。	<ul style="list-style-type: none">○ 年度の後半になると、会社が用意する技術者が不足してきて配置が出来ないなどの理由により参加者が減っていると思われます。○ 参加する事業者が辞退しない限りは継続します。

2. 抽出案件

意見・質問（委員）	回答（大阪航空局）
<ul style="list-style-type: none">○ 履行確実性の審査について、企業の内部事情のような資料はどこから入手しているのか。入手しないで判断するのか。○ 工事が完成した段階で確実に予定通り出来ているかの確認はヒアリングか、現場か。○ 1者応札や不落随契へ移行する事案が多くなっている。制度設計の問題が出てきていると思われるが、今後検討されたい。	<ul style="list-style-type: none">○ 応札者から資料をいただき、その内容についてヒアリングをして適正であるかどうかを確認しております。○ 工事の途中経過の確認は監督職員が、最終確認については検査職員が検査しています。